



拜啓梅雨の時節に相成り毎巻
 少々祥奉敬賀の過般當地に任
 遇に之印に告禮作其後別任
 少波此等之抄に安未申上り却説此
 度に発布に相成候由農工商工等
 會議規則に準下不日議負の任
 命に有之事と存下候が改正前の國會
 議に専ら外國貿易に關する諮問
 府と云ふ譯を其議負も東京
 大阪京都横濱神戸と銘んと地区を
 副して任命せられたる様は誠思申候
 然るに此度の一般實業の諮問府
 と云ふ様は相見候得に當名古屋
 市の如きは自然商工業の一都府と
 少認之と代表する處を議負と
 命下に相成るに當然と愚考候
 右存其候補者に就るに因り
 人物の経験識もあつて敢て平生の
 申上るまでも無之儀と存候得共

有る其修飾者、就るに因り
人物のは鑑識もあつて敢て小生の
申上るまじも無之儀と存候侍共
豫めて清聴はる置候如、眞
田正香氏の如き材幹瞻眺しとも
凶嶺以西より見ざる人物と
相考候は非は加は成下様
仕度取上候小生と因氏の関係は
親家守有之候侍共殊更ら之を
稱揚して閣下の聰明を讃すが
如きことあらば小生の閣下は對
する多年の知遇は背く次第
なれば爲めす。所ありて申上る儀は
多之事とは承知は成下は取上り
尤も小生より斯くは推薦申上る
全く小生一個の考も有之候侍を
果しては淫議も相成る場合と
眞田氏の意志とは確めと成
下は奉願は此事はる將來の
實業界及政治界も大關係
を有す。儀として委細は眞浦君
にもは内話致置はる付は席中
聴取は成る及場合にも出京仕
出て親しくは踏慮を伴及も
存候侍共不取敢侍請ふ之察と
仰度不肖不敏以書面微衷
申上候尚ホトハ一申上候

徳に被仰る及場合より出京仕
火へ親しく在踏慮を仰及も
存候澤共不取敢違隣家等と
仰度不省不致以書面徴表
申陳候尚外一件願上候ハ
津島半殺取引所迄立候件付
過般隣家へ因本清三氏上
京へ親しく申身入小たる趣意が
目氏ハ多年我党の爲め力と
明年の改選期ハ當選すべき
かも存候人物なり此の取引所の
許否も就ても大に地方の聲望も
関すともわく一臂をと与へる小
よもの懇請も有之候事何事
可成少詮議の相成候様事
奉懇願候如願用事
より存候事頓首

六月十五日

上達野富之助

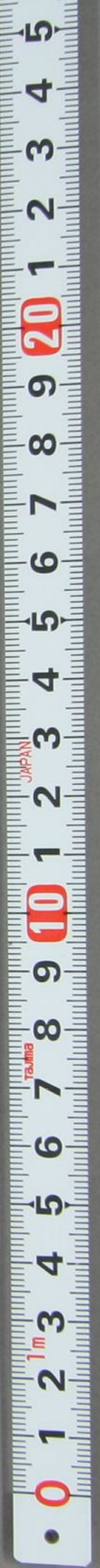
大隈伯爵
閣下



外務省官郵

大隈伯爵閣下

御秘展





名古屋南武平町二丁目
 上遠野富之助